

# 社会学

1,3 学年 後学期	チーフオーガナイザー：服部 慶巨 サブオーガナイザー： 1 年次学年教育主任
------------	---

一般目標 (GIO)	人間は、独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者(仲間)が必要不可欠となる。また、社会生活は(必ずしも)自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解し、医療社会にも対応させる能力を身に付けられるよう努めたい。
授業担当者	服部 慶巨
教科書	「ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学」 服部慶巨 人間の科学社
参考図書	「人間社会の理論と構造」 夏刈康男(ほか) 学文社
評価方法 (EV)	最終試験と平常点(出席状況、受講態度など)により、総合的な評価をする。
学生へのメッセージ	講義で語られた事象を「実践」しようとする、志の高い学生の参加を希望する。 なお、この科目は「単位」のために受講するというよりも、「自分(の評価)をもっと高めたい」という向上欲を満たすための受講という考えで臨んで欲しい。

日程	授業項目	授業内容・到達目標・学習方略 (SBOs)(LS)	授業担当者
10/2(木) 2時間	ガイダンス	講義の方針、展開方法、目標などを確認する。	服部 慶巨
10/9(木) 2時間	状況(情況)判断	単一的ではなく、多角的(多面的)な判断能力および社会科学的な分析方法の理解をめざす。	服部 慶巨
10/16(木) 2時間	社会(学)とは何か?	「社会」というものの性質・構造について、身近な「社会問題」を用いて解説する。	服部 慶巨
10/23(木) 2時間	社会的動物としての人間	人間は他の動物とは“かなり”異なる存在であり、そして社会なしには決して生きられない存在である。そのような人間と社会の関わり的重要性について述べる。	服部 慶巨
10/30(木) 2時間	行為と行動	「行為」「行動」はそれぞれ人間の動作を表す用語であるが、使い分けをすることによって動作の客観的説明能力を身に付ける。	服部 慶巨
11/6(木) 2時間	問題行動	近年、すぐに「キレル」「ムカつく」「大人になれば何をしても許される」という勘違いが横行している。そういった人間の本性・誤認識への対処法を考えていく。	服部 慶巨
11/13(木) 2時間	コミュニケーションと人間関係	「コミュニケーション」の意味、構造などについて解説する。	服部 慶巨
11/20(木) 2時間	コミュニケーションと人間関係	コミュニケーションの効能(その行為の求めるところ)について解説する。	服部 慶巨
11/27(木) 2時間	コミュニケーションの人間関係	コミュニケーションのまとめとして、その行為における問題点を解説する。	服部 慶巨
12/4(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	「人間」とはどのような存在を言うのか? どうすれば人間として認められるのか? そういった基本的事項について考える。	服部 慶巨
12/11(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	人間は、生命力のほかにも「演技力」がなければ「人間」として生きていくことは出来ない。では、どうやって演技すれば良いのか? その法則性を分析する。	服部 慶巨
12/18(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	よく「医者はエライ」などと言われるが、この世に病気というものが存在しないとしても「医師」という職業は成り立つのだろうか? ここでは、医療スタッフと患者との関わりを分析する。	服部 慶巨
1/15(木) 2時間	恋愛に伴う欲求と効果	これまで解説してきたことの総決算として、「恋愛」を取り上げ、人間関係の基本的な部分を抽出する。	服部 慶巨
1/22(木) 2時間	恋愛に伴う欲求と効果	うまくいく「恋愛」と、円滑な「治療」との間に見られる同じ構造を解説し、まとめに替える。	服部 慶巨